東京電機大学大学院　先端科学技術研究科　平成25年度　講義要目（シラバス）

科目名	環境・計画システム先端演習
英文名	Advanced Practice on Environmental Engineering and Planning
学部学科	先端科学技術研究科　建築・建設環境工学専攻
配当学年	1・2・3年次
開講時期	通年
単位数	4.0
必選区分	選択
担当者名	岩城　和哉

目的概要	建築の設計では、要求される多種多様な条件や性質が最終的にひとまとまりの形態へと統合されます。このひとまとまりの形態は多様な条件や性質を一括して実現するに適した形態的秩序を備えています。したがって、その形態はひとまとまりであるにもかかわらず、きわめて多義的な意味を有しています 。この統合化の作用(synthesis)こそが設計行為の醍醐味です。 一方、研究における分析(analysis)とは多様な条件や性質が複雑に絡み合いつつ秩序づけられたひとまとまりの形態を、特定の視点に基づいて解体してゆく作業です。実体化されたひとまとまりの形態に関して特定の性質に注目し、その視点のもとで形態分析を行います。すると、注目した性質がある形態的秩序へと統合されている様態を抽出することができます。 以上の認識のもと、本講義では建築形態論的視点に基づく文献を参照しながら、建築の形態的秩序を解明する方法について学びます。
教科書名	特になし
参考書名	香山壽夫『建築意匠講義』、井上充夫『建築美論の歩み』
評価方法	レポート、内容発表討論を総じて評価する。
テーマ・内容	1）　ハインリヒ・ヴェルフリン「美術史の基礎概念」 2）　パウル・フランクル「建築史の基礎概念」 3）　アンリ・フォション「形の生命」 4）　ヴィルヘルム・ヴォリンガー「抽象と感情移入」 5）　コーリン・ロウ「透明性」 6）　ロバート・ヴェンチューリ「建築の多様性と対立性」 7）　クリスチャン・ノルベルク・シュルツ「実存・空間・建築」 8）　香山壽夫「建築形態の構造」
E-Mail address	iwaki@g.dendai.ac.jp
履修上の注意事項・学習上の助言	